

2023(令和5)年度 関西保育福祉専門学校

第1回教育課程編成委員会報告

本校の教育課程編成委員会設置要綱に基づき設置した教育課程編成委員会において、第1回委員会を下記の通り開催いたしましたので、報告いたします。

1. 開催日時 2023(令和5)年10月6日(金) 15:00~17:00
2. 開催場所 関西保育福祉専門学校 校長室
3. 委員一覧

【委員】

名前	所属等	備考
下里 里枝	関西国際大学 教育学部教育福祉学科 准教授	出席
上杉 泰章	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 事務局長	出席
浅田 尚子	尼崎市立水堂保育所 所長	出席
北島 孝通	学校法人庄内神社学園 幼保連携型認定こども園 庄内こどもの杜幼稚園 園長	出席
山元 拓馬	社会福祉法人福成会 サポートセンターまつば 施設長	欠席
黒岩 由美子	社会福祉法人ふたば福祉会 塚口北ふたば保育園 園長	出席
藤井 和子	関西保育福祉専門学校 教務委員長	出席
藤田 千波	同上 保育科学科長 就職指導委員長	出席
吉田 しのぶ	同上 入試委員長 学生指導委員長	出席
清山 莉奈	同上 保育科教員 情報教育担当	出席

【オブザーバー】

濱名 篤	学校法人濱名山手学院 理事長	出席
本田 あけみ	関西保育福祉専門学校校長 関西国際大学経営学部教授	出席

4. 概要

(1) 校長あいさつ

(2) 委員長選出

設置要綱により、藤井和子教務委員長が選出された。

(3) 報告事項

1) これまでの教育課程委員会からのご意見とその対応について

委員会で頂いたご意見	ご意見に対する対応
<p>2022 (R4) 年度</p> <p>1.在学生の教育目標到達自己点検票(ベンチマーク)について</p> <ul style="list-style-type: none">・疾病への対応に対しての項目において保育の中で子どもの様子を適切に把握し、保護者、同僚に正確に説明できる能力の育成が、求められている。子どもの状態を捉える保育者を目指した目標設定へとシフトしていくことも必要である。・ピアノの項目について 「ピアノ」を用いることは有用ではあるが、こだわりすぎず、インターネット音源やCD音源などを活用した保育を進めている現場の姿もみられる。ピアノに代わる音楽表現方法として、学生一人一人が「自分自身は何ができるのか」を見つめながら、様々な方法で表現力を培っていくことが求められている。 <p>2.教育・保育実習における学生の状況に関して</p> <ul style="list-style-type: none">・実習生の姿から「集団の中での個別指導」に悩む姿が非常に大きいと感じられる。集団で子どもと一緒に活動している中で、子どもの意見を取り上げたり、子どもの言葉に耳を傾けたりしながらも、保育を進めていくことのできるスキルが求められる。 <p>挨拶など社会人としてのマナーの重要性を意見として出すことが多かったが、その点について調査結果からも改善が見られている点を嬉しく感じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・保育において必要なスキル(PC・ピアノ・手遊び・制作物)を身に付けることも重要だが、人間性についても育てていくような視点をベンチマークに盛り込んでいくことが望ましいのではないか。	<p>2023 (R5) 年度</p> <p>1.在学生の教育目標到達自己点検票(ベンチマーク)について</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの様子を適切に判断し、保護者、同僚に正確に説明できる能力の育成ができるよう、ベンチマークの検討を実施し、今年度中に改善案を作成する。・保育者に必要なスキルとしてピアノは不可欠であると考え。しかし、ピアノに特化することなく、ICTの活用も視野に取り入れていく。履修の見直しを行い、2024年度年より、ピアノの必修は1年半とし、2年生後期において、ピアノを選択できるようにしている。 <p>2.教育・保育実習における学生の状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・模擬保育を行い、子どもの言葉に耳を傾けたり意見を取りあげたりすることについて学生が互いに意見を出し合い、どのように取り組むかを理解できるようにしている。人間関係づくりの基礎となる「挨拶」について、さらに互いが心地よく過ごせる第1歩として、必要であることを学生が自覚できている。挨拶と笑顔によってさらに関係づくりが深まるようにして指導していく。・自己肯定感がさらに高まるよう、保育者に必要なスキルとともに、人間性としての強みを取得できるよう、ベンチマークを検討し、改善策を今年度中に作成する。

2) 学校の現状について、資料について説明がなされた。

□委員からのご意見

- ・卒業して保育者になった学生が離職後、養成校に相談に来た時の就職後の情報提供や再就職に対する協力体制などが大事である。

- ・社会人募集について、社会人と学生の入学への情報の受け取り方が違う。その違いをどのように受け止め情報提供するかを考えてほしい。
- ・一人でも多くの保育者を育てることが求められている現状から考えると、社会人募集に取り組んでいくことは必要である
- ・社会人にとって学びながら働くことは、大変な面もある。働きながら学びやすい環境にする必要がある。レポート提出や実習への取り組みについて考えておくことが必要である。
- ・保育現場で資格が無く働いている人がいる。その人たちは、現場で働いて資格を取りたいと考えている人である。
- ・社会人への宣伝方法として、ハローワークに募集のチラシを置いたり、転職サイトの活用をしたりすることも考えられる。
- ・資格を取得するための費用や時間の確保についての情報発信が要る。
- ・保育園で調理師として働き保育士資格を取りたい人もいる。
- ・精神的不安に対する支援も必要である。
- ・保育者の仕事内容のイメージが社会になかったり、給料が安いイメージがあったりする。
- ・保育者の仕事内容や働き甲斐についての情報発信も必要である。

(4) 協議事項 以下の項目に従い資料に基づき説明がなされた。

【2023(令和5)年度の取り組み】

1) 2023年度関西保育福祉専門学校事業計画保育科としての取り組みと今後の方向性

委員からのご意見

- ・実習でいかに実践力を身に付けていくのが大事である。

2) 授業アンケート調査結果

委員からのご意見

- ・授業への意欲に目覚める瞬間とは、アルバイトやボランティアで現場を学ぶことによっても育つと考える。
- ・座学プラス現場での経験から子どもの発達を学ぶことができる。また、土曜日の保育士の仕事内容も学んでほしい。

3) ICT 環境調査について

委員からのご意見

- ・ICTの活用について、保育現場においてICTの導入が異なっている。
- ・紙とロイロノートのよさを活かし併用してほしい。

4) 保育科の取り組み

委員からのご意見

実習記録において、保育者の意図が書きにくい学生が増えている

- ・担任に先に意図を聞くことが必要である。
- ・これからの保育者を育てることが大事である。
- ・ICT活用によって情報の共有ができるため、個人情報の扱い、盗用などのルール（他者を認め合える。出典 著作権）を身に付けておく必要がある。

以上